

2008.2 VOL.24



商工会報

みのわ

発行者 箕輪町商工会 発行責任者 会長 小林紀玄



「謹賀新年」「明けまして、おめでとうございます」

毎年の事でありますが、老若男女を問わず年賀状も含めて新年を慶賀する挨拶が交わされます。

「挨拶」とは昔の中国の言葉で「心を開いて相手に迫る」という意味だそうです。「今日は」にしても「今晚は」「おはよう」にしても「……だから何なんだ！といわれそうだし、それだけでは意味が伝わらない、しかし、昔から大変重要な事柄であって「挨拶もろくにできねー奴に娘はくれねー」頑固おやじの言いぐさにあった位で案外説得力の有ったものでした。まあ、相手の目をしっかり見て「私は貴方に危害を加える者では無くむしろ福をもたらす者です！」の気持ちで「お役に立ちます！宜しく！お願い致します！」といった処ですかねー。新年ですから夫婦といえども心をこめて挨拶して下さい。

えー！返事は『そんなの関係ねー』は、ねーだろう！

年頭のついで

箕輪町商工会長 小林紀玄



明けましておめでとございます。商工会々員

の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

お陰さまで商工会本会事業も会員皆様方のご協力で計画どおり進んでおりますことに感謝と御礼を申し上げます。

景気回復は戦後最長の拡大局面にあると言われますが、アメリカのサブプライムローンによる金融不況から世界的な経済不安が起り、国内では原油・原材料の高騰にも係わらず商品に転化しきれないという厳しい経営環境を強いられており、加えて株価の著しい下落は今後の日本経済に大きな不安を感じるところであります。

このため、今秋が正念場とされる経済をどう乗り切るかについて専門家のお話を聞いていただくための「新春経済講演会」を早々に開催したところであります。

平成二十年という節目、西

暦二〇〇八年の末広がりのであることから、平和で豊かな年になってほしいと願うものであります。

さて、中心市街地の商業を取り巻く環境改善を図るためイルミネーションフェスタなどTMO組織によるソフト事業を中心に活性化に取り組みでまいりました。

組織会員の団結と連日連夜血の滲むような努力により成果を上げてまいっていることは大変うれしく感謝に耐えません。

平成十八年六月まちづくり三法（都市計画法、中心市街地活性化法等）の改正が行われ、新たな計画を策定することとなった訳であります。いよいよ本年は町・関係機関とともに「市街地の賑わい創出プロジェクト」を立ち上げコンパクトシティーづくりについての本格的な研究に着手してまいります。

全国的に会員の高齢化、後継者難から営業を縮めるなど会員の減少が際立っておりますが、会員自らが商工会員で

あることの有益性を理解するとともに、同業者や近隣事業主に必要な性をお話しいたゞき、仲間づくりを進めていたゞくことが大切と考えております。

更に商工会の合併・連携が進む中で総合経済団体としての再生に向けた政策の展開が必要と考えており、国や地方自治体に対しては、中小企業政策の充実とともに、地域の産業振興やコミュニティ活動を担っている商工会の機能強化について、一層の理解と支援をお願いしていく考えであります。

人口二万五千五百人を有し上伊那の北の中心という地理的、経済的要件を持つ町町の存在は大きな使命を持つてまちづくりを進める責任があります。商工会はその上でも大きな役割を果たさなければなりません。

任期三年の最終年度を迎え、商工会創設の原点を再確認し、役員一同その目的達成に全力で努めてまいりますので、本年も一層のご支援ご協力をお願いし、会員皆様方のご健勝をお祈りして、年頭のごあいさついたします。

2007 イルミネーションフェスタ☆みのわ

地球と生命 PART II 「天竜川伝説・水と命」

大成功に終わる!!

山々から流れ出た水は天竜川となり、伊那谷を下り、太平洋に注ぐ。一滴のしずくが川になり、海をつくり、あらゆる生命の源となっている。

天竜川上流から運ばれた川砂は遠州灘の砂丘としてアカウミガメが産卵に訪れる。

町道六号線を古代の暴れ天竜川に、公園の滝を中心に哺乳類の時代。

それを取り囲む宇宙を各商店街としてイルミネーションで表現した「二〇〇七イルミネーションフェスタ」も一月二十六日をもって終了した。

大好評、大成功であったと自負している。

昨年十月より実行委員会を立ち上げ、イルミネーションの企画、制作、飾り付け、ギャラリーの企画運営、PR活動や歩行者天国、キララショップ運営など、各委員会の団結が成就した。それぞれの仲間に感謝、感謝。

昨今、巷でも数多くのイルミネーションイベントがある。テーマ性や手づくり、賑いの商店街づくりという観点では、他に類を見ない。

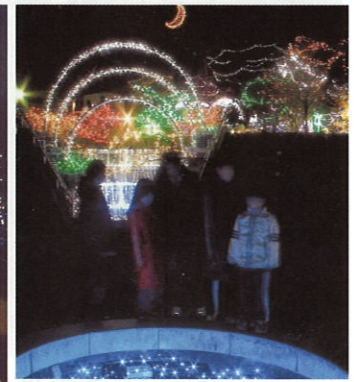
市街地再生困難な現状と地域経済の厳しさは先が見えにくい。

しかし、このフェスタの向こうに、みのわの商店、企業の活性化の兆しを感じられる。今、一歩、二歩と確かな前進を感じている。





輝く街づくり みのわイルミネーションフェスタ



商業部会活動

年末年始大売出し

商業部会長 池田 章

クリスマス・年末年始売り出しについて今年度は、宝くじ方式を採用いたしました。例年各支会様を通じて、チャンスカード券をお求め頂きましたが、今年度から会員の皆様様が直接商工会にて購入頂くようにしました。この事で会員皆様に周知しておられない点がありご迷惑をお掛けしました。今後の実施について各支会様とも話し合いを持って行きたいと思っております。



八月に行なっていますプレミアム商品券事業、年末年始

のチャンスカード事業、TM O活動推進事業など商業部として全商店あげての売上増進策と成りますよう、事業を行なって行きたいとおもいます。

商業部会研修旅行記

田村 勉

昨年十一月二十一日〜二十二日にかけて商業部会視察研修旅行に東京に行ってきました。最初は、日本の博物館を代表する国立科学博物館に行きました。

広い館内を限られた時間の中で、走るように展示物を見て回り、地球の自然と人類の歴史を見学しました。次に今回の目的的地でもある東京の新名所、大江戸温泉物語にいきました。温泉のテーマパークとして、二〇〇三年三月に開業し十四種

類のお風呂と江戸時代にタイムスリップした様な感じの情緒ある造りに圧倒されました。子供からお年寄りまで十分楽しめる施設でした。ゆつくり温泉を堪能した後は、東京の夜景をバックに屋形船でのんびりと夕食を頂き、部会員の親睦を深めました。二日目は、日本で最も古い商店街と言われる浅草仲見世と一年中賑わいのあるアメヤ横丁を視察しました。

朝から海外の観光客や買い物客で活気がありました。最後に秋葉原電気街の視察を



(築地市場にて)

しました。昔の、電気街のイメージは無く、パソコン関係、ゲーム、フィギュア、メイドカフェ等、若者中心の街に変わっていったのに驚きました。

今回の研修は、東京の中でも賑わう施設や商店街を選定して頂き実際に体験し雰囲気味わって頂きました。今後のそれぞれの店で生かす事ができれば良いとおもいます。

町内商店街で活用いただくことを目的としたみのわメープル会の共通商品券の引換は昨年暮れに行いましたが、用意された六百セットが二日間ですべて完売するという人気で、消費者の関心の高さが感じられました。

みのわメープル会

人気あるポイントカード会をめざして

しかし、みのわメープル会も発足以来十数年が経過し、商工会館に設置されたポストコンピュータの容量が

パーや各商店にある端末器の故障が多発しており、近年これらの修理費が増えている現状であります。

このようなことから運営理事会では現実を把握しながら今後の対応について研究中であります。

検討の中では、すでに現在の機器は限界にきていること。時代遅れでポイントがカードに表示されないことで人気が薄いこと。

ポイントを活用したイベントの開催など他市町村に劣った状況では会員の減少もまぬがれないなどの意見から、関係機械メーカーにも説明を求めて研究を行って参りました。

時代を先取りした新しいカード活用を行うことで、町内外の皆さんに愛されるポイントカード会の再編に向けて会員とともに検討会を開いていく考えです。



工業部会活動

諏訪圏工業メッセ

工業部会長 竹内 眞治

今回で六回目となる「諏訪圏工業メッセ」が十月十八、二十日の三日間、諏訪湖イベントホールにて開催され、工業部会として出展しました。

来場者は、二万七千余名と、六年前の第一回に比べ二倍以上となり、毎年増加しています、本年出展してみても感じられたことは、事前の説明会の「受注に結びつく展示会を」との掛け声とは裏腹に、出展者の方々の熱気がどうだった



のかな?.....と感じられませんでした。どんな良い取り組みもマンネリ化するとお祭りになつてしまうのかと思いました。来場者は東京や大阪方面など遠方の方も多く見られますが、前述のような状態では残念で

自動車の歴史と特殊鋼の見学

工業部会視察旅行から

工業部会長

竹内 眞治

十一月二、三日快晴でおだやかな秋の日に行ないました。初めて女性会員の参加があったこと、若い会員の方が多く参加してくれたこと(二十名)、初めて理事以外の会員の方に参加を願い旅行委員会をつくり内容を検討した事など様々な良い要素があったと思います。

初日の、トヨタ博物館は、千八百年代末から現代に至るまでの国産、欧米の名車展示を始めとし、車と生活文化、特別展として車と歌謡曲など、モーターゼーションの発達が、実物やレプリカにより見学できました。百年以上前の欧米車や初期の国産車など、現在の車のスタイルや色あいに通じるものがあり、先代のものづくりにかけた人たちのセンスの良さに感心させられ、参

す。当日は箕輪の方々も大勢お見えになりましたが、今年は見ることがないとの感想をもらっていた方もおりました。来年以降の出展については、慎重に検討していきたくと思います。

加者もなつかしいとききりに歓声をあげていました。

同日午後の大同特殊鋼(株)知多工場は、副工場長及び二名の係りの方にビデオ・質疑応答・バス移動による工場見学などお世話になりました。副工場長は東海市商工会議所の常議員で製造業部会長でもあるとのこととさらさらご理解をいただき丁寧に説明をいただきました。

この工場で作る「特殊鋼」は鉄鉱石からつくるのではなく、様々なスクラップをリサイクルして主原料とし、そこに他の元素を混ぜて合金としたもので、用途によって様々な種類があります。大同特殊鋼そのものの始まりは福沢桃介が起した木曾川の電力事業に依る余剰電力を利用する為につくられた会社との

こと、長野県との不思議な縁であります。桃介はやがて原料がなくなる石炭に替えて、永遠にエネルギーが得られる水力発電に注目したとのこと、したがって鉄を溶解する為に電気炉を使ったのが大同の始まりということと、スクラップを溶かす電気炉のスケール、工場全体のスケール、参加者一同「どぎもを抜かれた」との感想でした。



翌日の午前中は、日間賀島

ものづくりセミナー

今回のセミナーは、(株)東信鋼鉄社長の清水輝美様の講話、六月に工場増築により大幅にレイアウト変更をされたという工場見学ということで行いました。

日本で初めて「カスタムプレート」という概念をつくった会社で従って長野県は今でもカスタムプレート生産高が日本一である。「付加価値経

で釣りや島内散策の自由時間としました。次の常滑INAXライブミュージアムは、

ユー・ジアムは、五つのゾーンからなるINAXの体験型テーマパークです。世界のタイル博物館がちょうど当日リニューアルオープンという事で家族連れも多く楽しんでいました。資料館

自体が創業当初の釜を利用したもので、ヨーロッパ・中国・アジア等古代の建築材料など多く展示されていました。

「営」を目指し、「三K職場」を克服し、会社のまとまりを作りあげ増築によるレイアウト変更で作業効率もアップしたとの事で勉強させていただきました。

工業部会では、このような行事以外にも、会員の皆さんが交流ができ、勉強し、少しでも強い会社になれるようなお手伝いができればと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

青年部活動

ビジネスマナー講習会

北澤 宗則

去る十月五日、十二月五日と青年部員勉強会としてビジネスマナー講習会を開催しました。

今回の講習会は外部より講師を招く一般的な講習会ではなく、部員自ら今までに受けた講習会で得たものを、今度は自から講師となり部員にレ



クチャーする形式をとりました。

講師の部員にはテキスト作成から講義内容の検討と、復習を兼ねながら準備に尽力いただきました。

一回目の講習内容は「お客様に満足いただける対応を目指して」ということで挨拶や言葉づかいなど接客態度について学びました。

二回目は「相手の立場になつて考えよう」ということで名刺交換や電話対応、ビジネス文書の基本などを学びました。

どちらも基本と

言えるものですが、改めて学ぶことにより誤解していた点など部員それぞれが再確認でき、有意義な講習となりました。

今後もこのような形式でビジネスマナー講習会を続け、良き後継者となれる様、努力していきたいと思えます。

建設業部会活動

全自動の三協立山アルミ

清水 政治

久しぶりに建設業部会の研修旅行に参加させて頂いた。

深く曇る中を出発、合掌造りの家々が建ち並ぶ岐阜白川郷に着く頃には大雨となった。雨に煙る晩秋の白川郷もまた面向きがあり、何故か懐かしささえ感じられた。茶屋忠兵衛で郷土料理に舌鼓、一路金沢に向う。

幾度と訪れる北陸の旅も兼六園は初めてであり、雪の重

みから樹木を守る「雪吊り」は雪国の冬の風物詩、円錐型に整然と張られた縄、これがまさに冬の華である。新しく整備された金沢城もすばらしい見ごたえのある建築物であった。

今宵の宿は金沢駅の真ん前にある「金沢都ホテル」。夜の宴会、これもまた親睦研修で大いに盛り上がった。

翌日、起きて見ると昨夜の雨も雪に変わり、旅先で初雪をはじめて体験した。

二日目は工場視察。アルコールは禁止、その為かバスの中は意外に静か。車窓から雪景色を見ながら富山県に向う。

平成十六年に三協アルミと立山アルミが生産統合会社「STプロダクツ(株)」としてスタートしたという。

我々建築関係に最も馴染みの深いサッシ工場である福光工場を視



(アルミの廻り階段を試す)

察した。ここでは押出し、皮膜、塗装されたアルミ部材を手動加工ラインと自動加工ラインで生産されている。

特に自動加工ラインでは、生産管理コンピュータとLANで接続されたライン制御コンピュータを中心に一貫した生産システムで切断、加工、部品付きの全工程を自動化された機械で生産されている。

私もかつて箕輪に代理店があった関係で三協アルミサッシを三十年近く使わせていただいたのでその工程をくまなく目に焼付けて富山を後にした。次回の研修にも期待致します。

福利厚生事業

貯蓄共済の推進

十一月一日～二十二日まで
商工貯蓄共済の一斉加入推進
を実施しました。

期間中は本会の役員並びに
支会の役員の皆様と総勢六十
八名を二十六班の班編成にし
て会員事業所を訪問してい
た
だきました。

特に本年度の目標として、
十年の満期を迎えられた加入
者の方の確実な更新、未加入
の会員への積極的勧誘をかか
げました。

結果として今年度累計では
前年度を上まわる二八四口の
契約を達成、実績により各支
会にも交付金をお支払いする
ことができました。

推進委員の皆様にはお忙し
いなかご協力をいただき本当
に感謝申し上げます。

商工会ではこの商工貯蓄共
済を中心とした各種の共済制
度手数料により総予算の一分
以上をまかなっており、公的
な支援環境が厳しくなってい
る現在、自主財源をきりひら
く柱として重要な事業である
ことはちがありません。

しかしながら経済環境がま
すます厳しくなっている最近
の状況では、より内容の良い
制度にしか目がむけられなく
なっているのも事実です。
そこでこの商工貯蓄共済も、
本年からは医療保障特約も始
めるなど、よりサービスの向
上にとめております。
今後ともより加入者メリツト
の増大を考え、ただ今検討を
重ねております。今後ともご
愛顧の程よろしく願いまし
ます。

新登場

★会員さま限定★うれしい「無事故給付金」
お待ちせました!!商工貯蓄共済に今年度から
「医療保障」が付加できるようになりました!

商工貯蓄共済医療保障特約型プラン
お手軽な保険料で“あんしん”と“楽しみ”をかねそなえた医療保障!

Point1	Point2	Point3	Point4
入院 1泊2日 入院から OK 5,000円	楽しみな 無事故給付金 10万円	ご加入はかんたん 告知扱い	割安な保険料です 1日あたりの保険料 約 79円
手術 手術1回につき 手術の種類により 20・10・5万円	入院や手術がなかったとき、 10年満期は5年ごと5万円、 合計10万円が受け取れます。	です 状況上、通算上で診査等が 必要な場合があります。	満40歳男性・ 10年満期の場合



商工会員親睦ゴルフ大会

工業部会副会長 向山 淳

第十八回商工会員親睦ゴル
フコンペが十一月六日に参加
者三十八名で信州伊那国際ゴ
ルフ倶楽部において盛大に開
催されました。天候は曇り
であったが絶好のゴルフ日和
の中開会式が行われ、アウト、
イン同時スタートで始球式の
後新ペリア方式、十八ホー
ル・ストロークプレーのルー
ルでプレーが開始された。参
加者は日頃の練習の成果を充
分に発揮し、和気相合と親睦

を深めながらプレーを行い、
ナイスショットや珍プレーな
どを連発した。
その後会場を産業会館二階
に移して十七時より懇親会と
コンペの表彰式が行われた。
上位入賞者は次の通り

- 優勝 須藤 剛史
- 準優勝 上田 亨司
- 第三位 小島 鉄三

誠にありがとうございます。

懇親会には平沢町長をはじめ
め町議会議員の皆様方等四十
二名の参加があり商工会黒田
副会長の挨拶、来賓の祝辞が
あり、上島議長の乾杯の音頭
で祝宴が開始され、日頃会わ
ない商工会員の親睦やゴルフ
談義に花が咲いた。

途中ピンゲームが行われ
たが「リーチ」というかけ声
がかつてもなかなかピンゴに
ならなかったりし笑いがこぼ
れ楽しいひとときを過ごした。
昨今の道交法の事情や社会
通念から飲酒は控えめになり
盛り上がり欠けたかも知れ
ない、表彰式のあり方、ゲー
ムのあり方を再考する事も考
えなければと感じた次第です。

編集後記

千支は最初の子年だ。何で
も初心に返れと云うが、全
ての祭りも見直す時期かも知
れない。みのわ祭りにしても
討委員会にて現在原点を
探している。商店街活性化も
祭りのやイルミ祭り、或は消
防団出初式、木下南宮神社祈
年祭(山車)、或は中曽根の
獅子舞等コラボレーションし
ていけば盛り上がりていくん
では無いかな。って思うのは
果たして邪道だろうか。

燃料も去年の今頃と比較す
ると、三割以上上がってしま
った。このまま暖かな冬で
いて欲しい。唯、相まって、懐
も寒いんだから、堪ったもの
ではない。本当の春は何時来
るのだろうか。
原稿にご協力頂いた方々有
難うございました。おかげで
本号が発刊されるに至りまし
た。次号まで、皆様のご健康
ご活躍を期待してやみません。

会報編集委員

- 委員長 黒田 重行
- 副委員長 赤羽 広治
- 委員 田村 吉久
- 委員 福澤 宗久
- 委員 北澤 幸則
- 委員 小口 幸子
- 事務局 松崎 勉